



タモトユリ

2月号

十島村立
口之島小中学校
児童生徒会新聞
2月24日発行

いつもありがとう 感謝の給食週間

始まりは山形のお寺から

一月二十四日〜三十日は、学校給食週間で、学校給食週間は、給食を作ってください人たちに感謝する週間です。

口之島小中学校では、学校給食週間に鹿児島県の郷土料理を食べます。その中には十島村の食材があります。

一つ目は田芋です。田芋は里芋の仲間です。田で栽培されるのが特徴で「ミズイモ」と呼ばれます。主に沖縄や奄美・十島などの南西諸島で栽培されています。田芋は里芋とは違ったホクホク感と粘りがあります。学校給食週間は、田芋をコロッケにしました。

給食の始まりは明治二十二年、山形県鶴岡市で弁当を持つてくることができない児童たちに簡単なお昼ご飯をあげたのが始まりです。その後、全国に給食は広がりました。しかし、戦争が起きて、戦争による食料不足によって給食は一時中断しました。戦争が終わり、昭和二十一年十二月二十四日に給食を再開しました。それ以来、十二月二十四日を学校給食感謝の日と定めていましたが、冬休みと重なるため、一月二十四日から三十日までの一週間が「全国学校給食週間」となりました。



1月25日の給食

〈田芋のコロッケ〉
外はサクサク、中は柔らかく、とてもおいしかったです。

ハンダマの香味炒め



二つ目はハンダマです。ハンダマとは、加賀野菜で「金時草」といいます。十島村や奄美大島では「ハンダマ」と呼ばれ、栄養満点の野菜として昔から食べられています。



1月26日の給食

今月号では、給食週間の取組を紹介しました。そこで、十島村の給食の献立を立てている栄養教諭の〇〇〇〇先生にアンケートをお願いしました。

〇栄養教諭の仕事とはどのようなことをするのですか。

大きく分けて「給食管理」と「食に関する指導」の2つが栄養教諭の仕事です。

「給食管理」には①栄養管理＝栄養基準を満たすように献立を作成する、②調理の仕方やポイントについて調理員さんに伝える、③衛生面について気を付ける点を調理員さんに伝える、検便を実施する、衛生に関する帳簿類を作成する、④給食の食材の注文、在庫量の調整、給食費の調整などがあります。

「食に関する指導」は、皆さんに食について学んでもらうための仕事です。年に1回担任の先生と一緒に行う授業や献立表・給食だよりなどの作成を通して食について学んでもらっています。

〇全島で一番人気の給食のメニューは何ですか。

今年のアンコール献立では、主食部門「ココア揚げパン」、おかず部門「鶏のから揚げ」、デザート部門「フルーツポンチ」がそれぞれ1位でした。この3～4年では、主食部門「ココア揚げパン」とデザート部門「フルーツポンチ」は連続して1位です。おかず部門では「鶏のから揚げ」以外に「よくばりハンバーグ」「ABCスープ」「クリームシチュー」の人气が高いです。

〇特に給食の食材の中で一番多く使用しているものは何ですか。

「回数」が一番多い食材は「にんじん」です。ちなみに、今年度（令和3年の4月から令和4年の2月まで）ににんじんを使わなかった日は、2日（7月と1月それぞれ1日）だけでした。

「量」が一番多い食材は「玉ねぎ」です。ちなみに、口之島小中学校が今年度（令和3年の4月から令和4年の2月まで）使った玉ねぎの量（献立を考えた時の予定量）は、約100kg（1か月平均10kg）でした。

私たちのために、いつもありがとうございます！

〇さんに感謝のメッセージを送りました。他にも田芋を提供してくださった〇〇さんや食材を納入してくださる大野屋さんにもメッセージを送りました。

私は給食を食べて、この給食はたくさんの方が協力してくださっているから食べられるのだなと思いました。

文責：小五

みんなで祝おう 誕生日の日

口之島小中学校では、給食のとき、ある取組をしています。それは誕生日給食です。誕生日給食の日には、口之島小中学校の児童生徒全員からのメッセージカードと、誕生日の人への歌が贈られます。メッセージカードには、誕生日の人への感謝の気持ちを書いていきます。だから、誕生日には誕生日の家族だけでなく、たくさんの人から誕生日を祝われます。

僕はこの間、誕生日でした。そこで、僕は、たくさんの人から祝ってもらい、メッセージカードをもらいました。僕は祝ってもらったとき、とてもうれしかったです。

文責：小六



お店やさんごっこ



小6 ○○

歌声が口之島小中学校を一つに 三部合唱で卒業生へのエール

もうすぐ、卒業式があらります。僕は、卒業式のために「旅立ちの日に」のソプラノのパートを練習しています。高い声、大きく聞こえやすい声を出すように頑張っています。最後の部分は、高い声を出すところがとても難しいので、特に頑張っています。

世界に届け！！口之島

Memorable Graduation

There is only one month left until the graduation ceremony. I've practiced the graduation songs and have written farewell messages. This will be the last time I'll sing with these members. I want to make sure I don't have any regrets. We will sing "On the Day of Departure" and "My Home" at the graduation ceremony. For "On the Day of Departure", I will sing the tenor part. I want to harmonize with the other parts in the three part chorus. For "My Home", I want to be able to sing the high notes. I would like to express my gratitude to the teachers, the dormitory supervisor, ○○, the islanders, and parents who I have been indebted to so far. I will soon be leaving Kuchinoshima. I feel sad, but I want to do my best in high school.

{○○, 3rd year Junior High School Student}

卒業式まで残り一月になりました。卒業式の歌の練習やお別れのメッセージを書くなどしています。歌では、このメンバーで歌うことは、最後になります。僕は、悔いのないようにしたいと思います。そのために、「旅立ちの日に」では、テノールのパート

を歌いますが、他のパートとの三部合唱で、きれいなハーモニーを表現したいです。今までお世話になってきた先生方や寮監の○○さん、島民の方々、親にも感謝の気持ちを伝えられるようにしたいです。ここ口之島から離れることにな

ります。寂しく感じますが、高校でも頑張りたいと思います。僕は、来年卒業します。今年の卒業生には、悔いなく中学校・高校でも頑張ってほしいので、応援するためにも、ぼくは五年生の勉強を頑張



文責：小五

タモトユリ調査隊 ~まだ知られざる口之島の歴史~

口之島珍百景を探せ！(特別号) 祝七十周年記念 節目の年から学ぶ



昭和二十七年二月四日、十島村は本土に復帰しました。今年が本土復帰七十周年を迎えました。そこで、本土復帰記念式典が行われ

十島村の生徒代表として式典に参加し、作文を発表しました。「伝統と歴史を積み重ねて紡ぐ未来」

未来の十島村は、今ある価値を、変わらざる大切にしてほしいと思う。なぜなら島は自然

継ぐために下級生のお手本になれるように頑張りたいです。

泳学習を行ったり、たけのこ採りをしたりと学校行事の中でも、他の学校では味わえない経験がたくさんできるからだ。また、勉強面では少人数で授業が行われているので、より詳しく先生に教わり、もっと勉強がしたいと思えるようになった。島に来たばかりの頃は不慣れなことばかりだったが、四年以上暮らすうちに多くの人に支えられて、暮らして

いることを実感し、今までは見えなかった考えを持てるようになった。四年の暮らしを振り返ると自然の中で遊んだことや島の伝統的な行事等に参加した思い出がどんどん浮かび上がってきて、「この島は私のふるさとなんだな」と改めて感じられる。また十島村にくるほとんどの山海留学生は「自分が変わりたい」と希望しました。」

自分が変わることができるところ。しかし、風景はいつまでも変わらない場所だと思う。私のふるさと十島村。いつか島の生活が快適になっても風景のどこかに昔の面影を残しているほしい大好きな場所だ。そして今年に入ってから学校の新聞部の活動で島の歴史について調べる機会があった。戦時中、戦後の本土復帰の狭間で一生懸命に生きた方々の話を聞いて、どんな時代でもたくましくひたむきに生

きる大切だというメッセージを受け取ることができた。今年、十島村が本土復帰してから七十周年を迎えた。節目の年だからこそこれまで先人から受け継いできた歴史や伝統を振り返り、また次の世代につないでいくことが大切なのではないかと思う。未来の十島村は積み重ねた歴史や伝統を基盤にし、次の時代の価値観に合わせた創意工夫を加えながらもいつまでも懐かしさを感じさせる姿であってほしいと願う。この式典に参加できたことをとてもうれしく思います。そして、十島村の本土復帰の狭間には、人々のたくさんの努力があったことを改めて感じるきっかけにもなりました。また、記念式典では、島の為に功労された方々の受賞式も行われました。口之島コミュニティセンターで一緒に式に参加した○○さんに表彰された今



文責：中二